

## R01a VERA による W49N - OH43.8-0.1 メーザーペアの試験観測

本間希樹、小林秀行、川口則之、柴田克典、宮地竹史、武士俣健、廣田朋也、寺家孝明、官谷幸利、マリアリオ八、ホセ石塚、藤井 高宏、小山友明、倉山智春、須田浩志、崔 崙景、真鍋盛二、亀谷収、田村良明、堀合幸次、久慈清助、佐藤克久、岩館健三郎、酒井俐（国立天文台 VERA 観測所）、面高俊宏、今井裕、蒲原龍一、中川亜紀治、清水 理絵、中島 廣一郎、猪俣 則智、貴島 政親、空 佳澄、山下一芳（鹿児島大）他 VERA グループ

2003 年秋から始められた VERA の 2 ビーム試験観測のうち、W49N-OH43.8-0.1 ペア観測の結果について報告する。W49N-OH43.8-0.1 ペアは VERA で観測可能な最も明るいメーザーペアであり、2002 年 5 月の水沢-入来間で 2 ビーム初フリンジ検出の際にも観測されるなど、VERA の試験観測で重要な天体ペアである。VERA では 2003 年 10 月から始まった 2 ビーム試験観測で、この天体ペアをほぼ毎月一回のペースで観測しており、2 ビームの大気位相補償精度や位置天文計測精度の検証を目指した解析が現在進められている。本講演では特に位置天文解析を中心に試験観測の最新の結果について報告し、VERA の位置天文計測精度について議論する。また、2003 年 10 月に発生した W49N の水メーザーアウトバーストや 2 天体の内部構造など、関連するトピックについても紹介する。